

来年もまた
この場所で
この景色を…

11月13日に開催された「弁天崎灯台キラキラ☆ウォーキング」。参加者は、時間を忘れ、頂上の弁天崎灯台から臨む景色に目を奪われていました。(関連記事は10頁)

主な内容

- 6次産業化推進事業の取り組み … 2頁
- 平成28年度村民懇談会 …… 6頁
- 旧6小学校校歌CD化 …… 8頁
- 村診療所に常勤医師が着任 …… 12頁

聞き取り調査やアンケートでの意見(一部抜粋)

「田野畑は自然に恵まれており、地元の方々は生まれた時からその自然(景色や食べ物など)にドップリとつかって全てが『当たり前』になっています。そのため自分たちの『当たり前』に価値を見い出せないでいるように思います。高齢化の影響は食の世界にもあり、郷土料理を作れる人が元気なうちに伝承する手段を講じてほしいです」(村内・50代女性)

「田野畑村は、けっこうすごいところだと思います。これまでの『なりわい』を誇りにして、この自然を守る責任と敬意をもたなければと思います。もっと身近で、調理しやすいものを使って、昔の方法や現代的にアレンジしたものを考案したいです」(村内・60代女性)

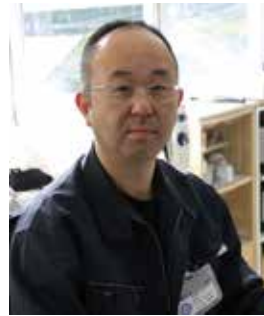
「村民の方々にとっては見慣れた当たり前前のもので、ほかの地方の人にはとても珍しいのです。そのような食材を使って色々作ってみて下さい。楽しみにしています」(懐かし村会員)



田野畑のシイタケを使った炊き込みご飯

「村ならではのものを売ってほしい、買いたい」と言われているのに、どこで売っているのか。誰が作れるのか。村で「普通」と思っているものが、実は村外の人にとっては「普通じゃない」のではないか。

そんな想いから始まったのが、その月の旬の食材とその生産者を紹介する「田野畑村の美味しい!」を育む うみのひと。やまのひと。シリーズ(次のページに掲載)と場所やテーマを変えて村内で開催している料理教室や勉強会、試食会です。



産業振興課 6次産業化推進室 工藤 隆彦 室長

「産業振興課ですから、それが1次だろうと6次だろうと、それを振興すること、平たく言えばお金を稼げるようにすることが仕事

「おいしい」だけでは満足してもらえない

です」と語るのは、産業振興課6次産業化推進室の工藤隆彦室長。しかし、ただモノを作れば売れるわけではありません。モノ余りや低欲望社会と言われる時代に「おいしい」ものは都会にいけば溢れるほどあります。地方でもネット通販などを利用すれば簡単に取り寄せることができます。

「そんな時代になぜ、あえて田野畑村から買わなければいけないのか? どのようにしたら買いたくなるのか? そこを考える必要があると思います」と工藤室長は話します。

6次産業化推進室は本年度初め、今後の展開などについて、農業者や漁業者、飲食店・小売店従事者など村内の「食」に携わる人たち約100人に聞き取り調査を行いました。さらに、村外の人からの意見として、「懐かし村」の会員150人に数回にわたりアンケートを実施しました。

そこから見えてきたのは、村民である私たち自身が、自分たちの「強み」である素材やその魅力に気付いていないこと。一方で、村外の人たちは、その「強み」に期待を寄せているということでした。

「田野畑の美味しい!」をつくる人たち

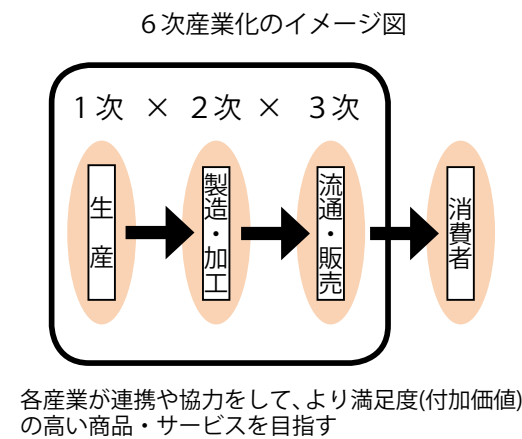
「本当にたくさんのご意見を頂きました。当然、多様な考えがあるわけですが、なかでも特に多く、そして熱心に書いてくださった人に共通するのが、田野畑の歴史や風土に根ざした、いわば『普通を大切に』ということでした」と工藤室長は言います。

田野畑村に住み、田野畑村で暮らしているけれども、そこに伝わる食文化や四季折々の食材、作る人について、私たちは十分に知っているのでしょうか。



「田野畑の美味しい!」を作る仕事 始まっています

～6次産業化推進事業の取り組み～



村の重点政策の1つ、6次産業化推進事業。6次産業化は、農林水産業者が生産だけではなく、製造・加工業者や流通・販売業者などと連携や協力をして、各産業の可能性を広げようとする取り組みです。

1次産業(農林水産業)と2次産業(製造業)そして3次産業(サービス業)の数字を掛けると「6」になることから、これらの産業全体の底上げや最適化をすることが6次産業化と一般的には説明されます。

しかし、そう言われても「具体的に何をどうすることなのか? それの何が良いのか?」分からないという人も多いのではないのでしょうか? そこで今回は、「今・何を・どのよう」に取り組んでいるのか、村の新たな挑戦を紹介します。

- ①_ 佐藤 広為さん / 漁師 (ホヤ)
- ②_ 菊地 英光さん / 農家 (芋の粉)
- ③_ 工藤 沙織さん / 漁師 (ウニ)
- ④_ 中村 ナツさん、中村 真文さん / 農家 (夏野菜)
- ⑤_ 畠山 清一さん / 農家 (行者菜)
- ⑥_ 佐々木 雅彦さん / 漁師 (真昆布)
- ⑦_ 吉塚 公雄さん / 酪農家 (牛乳)
- ⑧_ 中村 琢雄さん / 漁師 (真イカ)
- ⑨_ 畠山 啓一さん / 農家 (山ぶどう)



「うみのひと。やまのひと。」を育て

田野畑村の「おいしい!」



「うみのひと。やまの人。」の詳しい内容はWEBサイト「田野畑だよりドットコム」に掲載しています。

最新号の「うみのひと。」には漁師の平坂隆幸さん(43)＝北山＝が登場。シーズンに突入したサケ漁に迫ります。

「やまのひと。」は(株)サンマッシュ田野畑の青木貴行工場長を紹介。「炊き込みご飯」の商品開発などにも積極的なサンマッシュ内部をレポートします。

「遠回りしているように見えるかもしれませんが、こうして自分の足元を見つめ直し、自分の得意とするもので勝負することが重要だと思えます」と話すのは、昨年7月から復興支援員として6次産業化推進事業に携わる渡辺貴さん。渡辺さんは続けます。「100人のお客さんがいたら100人全員に好かれようとする必要はありません。村のことを理解して『この人たちが良いなあ』と思ってくれる人と長期にわたる関係をしっかりと築いていくことが重要で



産業振興課 復興支援員 渡辺 貴さん

ケも、従来の流通では販売できなかったもの。しかし「小さくても味は十分。小さいほうが料理には使いやすく便利」と、思惟大橋レストハウスの皆さんが「炊き込みご飯の素」を開発。こちらから今月から予定です。このような村の取り組みに首都圏の流通業者も注目し、提携の交渉も始まりました。

す。そうすればお客さんは、単に50円安いからといってよそに目移りしたりしません。お客さんの喜ぶ顔をしっかりと描きながら(販売)、自分の強みを見失わず(生産)、得意なものを作って届けていく(製造)。それを、はやりのように6次産業化などと言っていますが、商売の基本は何も変わりません。大切な事は『自分の魅力・得意なものを磨き、喜んでくれる人に届ける』ということです。村の6次産業化の取り組みは、遠回りしているように思われるかもしれませんが、一歩ずつ前へ進んでいます。私たちが気付いていない村の素材やその魅力、一緒に探してみませんか。



茎わかめ2品セットは現在、パッケージを制作中です(画像は制作段階のものです)



2月に島越地区で行った勉強会で、地元の女性たちにより、披露された料理の1つに「わかめの茎の辛味漬け」があります。見かけはこの「辛味漬け」は菊の花の黄色が鮮やかで、ひときわ目を引きまします。主原料のわかめの茎はかつては、浜で捨てられていたものですが、それを何とか有効活用できないかと知恵を絞って生まれた料理です。羅賀地区に伝わるわかめの茎のつくだ煮「茎っこ煮」も同じような経緯から生まれた料理です。

捨てられていたものが お金に変わる!

「おいしいさ」プラス「田野畑村の風土に根ざした」もの。しかも原価は極めて安い優れもの。「懐かし村」の会員に試食サンプルを送ったところ次のような反応が返ってきました。

「田野畑村ならではの料理を楽しみに待っていました。パッと見たときの色合いの美しさにひかれました。見た目は満点! これからも色々なチャレンジを楽しみにしております」(懐かし村会員)

「つくだ煮と辛味漬けのセット販売を! 資源を考え箱入りではなく、紙包装で送料を安くしたお取り寄せ用に! 海の幸(海の人)、山の幸(山の人)、田野畑村を大きく。皆さんが集まって楽しく作っている様子が伺えます。これからも頑張ってください」(懐かし村会員)

このような声を受け、今月から「わかめの茎の辛味漬け」と「茎っこ煮」の茎わかめを使った2品をセットにして、産直プラザやホテル羅賀荘などで販売を開始します。8月に田野畑地区で行った勉強会で、(株)サンマッシュ田野畑から提供された規格外の小さなシイタ

村民懇談会で出された 要望などに対する回答をお知らせします

7月13日から26日にかけて、村内6会場で行った村民懇談会。各地区から出された要望などに対する回答の一部をお知らせします。なお、地区ごとに出された全ての要望などとその回答は、別途自治会長さんへ送付します。

【質問】 光ファイバー事業の活用はどのようなことを考えていますか。

【回答】 光ファイバーの敷設は、村内全域で超高速ブロードバンドを利用できる環境を整えることが第1の目的です。なお、現時点で光ブロードバンドを活用した具体的な事業として、年内に観光拠点8カ所と防災拠点5カ所に無料でインターネットに接続できる観光・防災Wi-Fiステーションを設置することとしています。



【要望】 街灯のLED化について、数基ずつでも構いませんのでお願いします。

【回答】 岩手県企業局の補助制度を活用し、平成29～30年度の2カ年で全村の街灯をLED化する方向で検討しています。

【質問】 1次産業の担い手確保（後期基本計画に記載）について、現在の1次産業に携わっている人数と年齢層を教えてください。後継ぎ世帯は、何世帯と考えていますか。

【回答】 現在、JAの生産部会などと漁協の正組合員・准組合員を合わせて、370人（法人含む）ほどいると思われますが、その内、年齢層は50代以上が多くなっております。また、高齢者の後継ぎ世帯については、家族構成などを踏まえた検証も必要であることから、引き続き調査を進めてまいります。なお、担い手対策については、新規のみならず、後継ぎを含めた支援策を検討中です。

【要望】 内陸部の観光にもぜひ力を入れてほしいです。

【回答】 現在、内陸部での体験観光として、サクラソウ観察会、ヒメホテル観察ツアー、秋の三沢溪流紅葉ウォーキング、辞職坂ウォーキングなどを実施しているところです。今後においても、内陸部の体験プログラムの充実に努めてまいります。

【質問】 落石の恐れがある村道はありませんか。ある場合は注意喚起していますか。

【回答】 落石の危険がある村道の一部には看板を設置していますが、そのほかの危険箇所にも設置が必要と考えています。また、本年度から落石対策工事を実施する予定となっています。

【要望】 クマが出没している所以对策を講じてほしいです。また、クマの捕獲は今年も実施していますか。

【回答】 出没、被害通報などに基づき、駆除罠を設置しており、今後もその都度状況を確認のうえ対処していきます。



【質問】 医師不在となり、医師が日替わりとなったことで住民が不安を感じています。次の医師確保の見込みはどうでしょうか。

【回答】 村の皆さまの不安が解消されるよう早期の確保に向けて努力しています
※平成29年1月1日付けで常勤の医師が着任することになりました。（12面に掲載）



【要望】 村道の草刈りについて、前のおり村で実施してほしいです。

【回答】 住民の高齢化や草刈り機が無いなどの理由により、対応が難しい地区については、行政区長さんからの連絡を受け、自宅付近などのできる範囲での草刈りをお願いしております。それ以外の区域は、村が実施する旨を連絡したところです。



【要望】 産業開発公社の経営状況はどのようになっていますか。新規開発など、産業開発公社の改革への取り組みに期待します。

【回答】 公社の経営は、平成9年以降厳しい状況に陥っていますが、現在、地域創生の連携を締結した、北日本銀行と中小企業基盤整備機構の支援を受け、抜本的な体質改善に取り組んでおります。公社は産業の要であることから、戦略と実用性を持った経営を図る方針です。村の産業に貢献する組織として、変革することが重要と考えております。

11月6日、村芸術文化協会とNPO法人東北岩手応援チャンネルが共同で「たのはたのココロ芸術祭り」と音楽会2016」をアズビイ体育館で開催しました。

午前は、芸能祭りが行われ、村の芸能団体などによる迫力ある踊りやあでやかな舞。小・中学生の大人顔負けの力強い舞台上に会場からは大きな拍手が送られました。

午後は、各地区でCD化に向けて取り組んできた旧6小学校校歌のCD完成お披露目会と村を応援するミュージシャンによる音楽会。お披露目会では会場を訪れた皆さんも飛び入りで参加し、しゃくなげ合唱団とともに歌声を披露しました。

音楽会では、4人のミュージシャンが登場。羅賀出身の中嶋亮三さんやおおきたちひろさん、デイジー☆どぶゆきさん、松安知行さんが音楽を届けました。音楽会の最後は会場の全員で松安さんの「田野畑の唄」を合唱しました。

イベントには、早稲田大学と県立大学の学生30人がボランティアとして参加し、運営などを行いました。

※このイベントは「アサヒグループコミュニケーション助成事業」と「岩手県NPO等復興支援事業」の助成を受けて開催されたものです。

たのはたのココロ 芸能祭りと音楽会



村を応援するミュージシャン4人による音楽ライブ



村の芸能団体などによる舞台。
① 若鶴会 ② 菅窪鹿踊保存会 ③ 田野畑中学校特設太鼓部



しゃくなげ合唱団とともに旧6小学校の校歌を歌う村の皆さん



歌い継ぐココロのうた 旧6小学校校歌CD化

昨年、島越地区の女性たちからの「震災により譜面などが流出してしまった『しまのこしのうた』をなんとか後世に残したい」という思いを受け、NPO法人東北岩手応援チャンネル有志の会によりCD化された「たのはたのココロのうた」。戦後まもなく、旧島越小学校に校歌がない時期に、島越地区で歌われていた、当時の校長・故佐々木サキ先生が作詞・作曲した2つの愛唱歌と岩泉高校教諭の故伊藤麟一先生が作詞・作曲した追憶の村（浜茄子の歌）の3曲が収録されました。

村は今年、「ココロのうた」の取り組みを村内の全地区に広めようと、NPO法人東北岩手応援チャンネルと協力し、平成22年の小学校統合により廃校となった、旧6小学校の校歌を各地区の住民の歌声により収録したCDの作成を進めてきました。

各地区では、7月から9月の間に、自主的に地区の公民館などに集まり練習を行ってきました。

音源の収録は、9月22日から24日までの日程で行われ、全地区合計で延べ180人の住民が参加しました。収録では、本格的な録音の機材を前に初めは緊張した様子でしたが、練習を数回重ねるうち

に、緊張もほぐれ、収録は無事に終了。田野畑小学校の全校児童が歌う、現在の田野畑小学校の校歌も収録され、7曲を収録したCDが完成しました。

幅広い世代が集まって行われた旧6小学校校歌CD化の取り組み。参加者の皆さんは、当時の思い出話に花をさかせるなど、会場は笑顔であふれていました。

※旧6小学校校歌CD化事業は、「NTTドコモグループ東北応援社員募金」の助成を受けて実施されました。

旧6小学校校歌などを収録したCDを無料で配布します

旧6小学校の校歌と現在の田野畑小学校校歌を収録したCDを無料で配布します。

先着順とし、在庫がなくなった時点で配布終了となります。

◆配布場所：教育委員会または役場窓口

※郵送などでの配布にも応じます。詳しくは問い合わせください。

◆その他：配付枚数は、原則1世帯1枚とします

◆問い合わせ先：教育委員会（☎3412226 内線22）

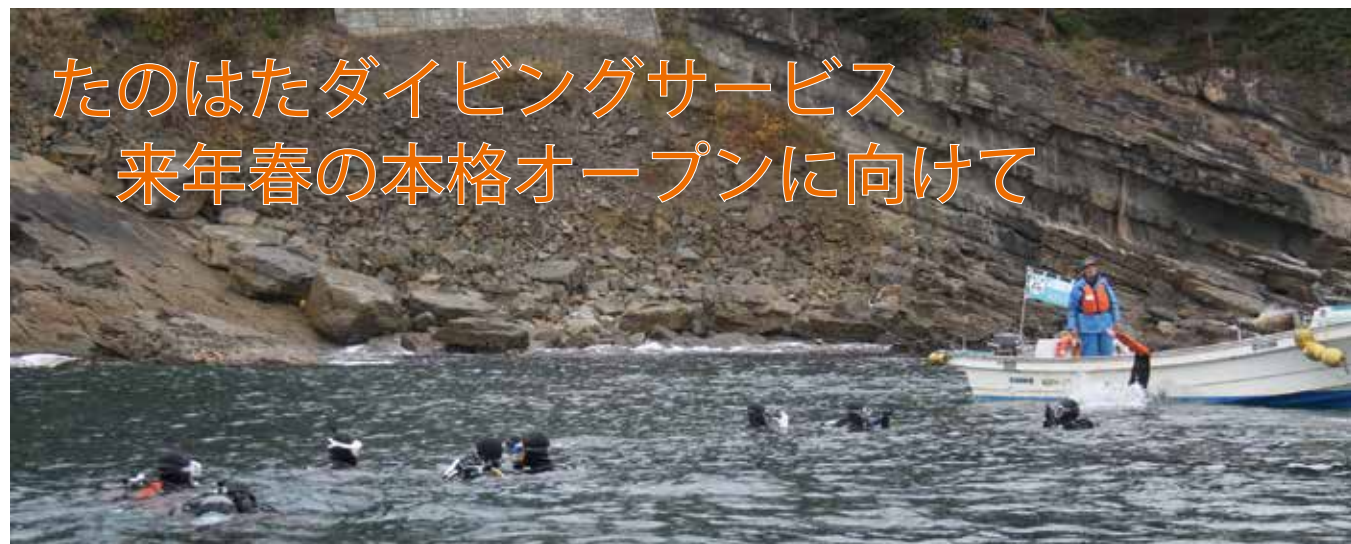


被災地に元気を!

さだまさしさんがコンサートを開催

11月4日、シンガー・ソングライターのさだまさしさんが東日本大震災津波と台風10号の被災地に元気を届けようと村を訪れ、復興支援コンサートを開催しました。

会場となった田野畑中学校ホールには、中学生と村民約250人が集まりコンサートを鑑賞しました。さださんは軽快なトークを交えながら5曲を披露。会場に集まった観客の中には、さださんの歌声に感動



たのはたダイビングサービス 来年春の本格オープンに向けて

ひらなめ海岸付近でのダイビングの様子。このポイントでは、海底まで続く白亜紀の地層を見ることができます

村が新たな観光資源にしようと、取り組んでいる観光ダイビング事業。昨年、机浜番屋群の海体験番屋に温水シャワーや休憩スペース、機材の洗い場などを完備した、ダイビング施設が完成しています。

村は今年6月、地域おこし協力隊として、ダイビングインストラクターの資格を持つ、辰巳ちあきさんを採用。体験村・たのはたネットワークと連携し「たのはたダイビングサービス」の本格オープンに向けて試験運用などを行っています。

11月19日は、ダイビング関係者や水産関係者向けに、施設見学会とプレビューダイビングを開催。約30人が集まり施設の使い勝手やダイビングポイントの確認を行いました。

ダイビングでは、ダイバーの資格を持つ25人が潜水。サツパ船や村漁業協同組合のボートなど4艘に乗り込み、羅賀のひらなめ海岸付近と北山のミノシタの断崖付近で2回のダイビングを行いました。天気はあいにくの雨となりましたが、参加者の皆さんは、魚や海中生物の姿、海底まで続く白亜紀の地層など、水中のジオパークを満喫していました。

北里大学獣医学部ダイビング

し、涙を流す人も見られました。コンサート最後の「風に立つライオン基金」から、支援金が村へ贈呈されました。

「風に立つライオン基金」は、さださんが設立した国内外の僻地医療や大規模災害の復旧現場などにおいて奉仕活動をする個人や団体に対し、物心両面からの支援を提供するための基金です。



ダイビング施設の前で準備をするダイバーの皆さん

サークルの松田明大さん(2年)は「ダイビングは南国のイメージがありました。東北でもダイビングができることに驚きました。施設や設備もすばらしく、また、水中の景色もとてもきれいでした。また潜りに来たいと思います」と笑顔。地域おこし協力隊の辰巳さんは「県内外から大勢のダイバーの皆さんが集まっていたので、とてもうれしいです。皆さんの意見を聞きながら、利用しやすいサービスを提供していきたいです」と今後の展開を見据えました。

たのはたダイビングサービスは、来年春に本格オープンを予定しています。

放課後児童クラブ施設を建築

村は、11月から田野畑小学校体育館の南側に放課後児童クラブ施設の建築工事を行っています。

安全に細心の注意をはらいながら工事を進めていきますので、理解と協力をお願いします。

◆お問い合わせ先：生活環境課 (☎34-2114 内線23)



放課後児童クラブ施設の完成イメージ図㊤と平面図㊦



弁天崎灯台 キラキラ☆ウォーキング

11月13日、村と体験村たのはた・ネットワークでは、村民向けに「弁天崎灯台キラキラ☆ウォーキング」を開催。参加した15人は、約1時間の遊歩道をガイドの説明に耳を傾けながら、散策しました。

晴天に恵まれたこともあり、頂上の弁天崎灯台から臨む水平線や紅葉に色づく山並みなどの景色に、参加者は時間を忘れ、目を奪われていました。

ウォーキングのゴール地点の「ロレオール田野畑」では、田野畑の食材をふんだんに使ったフランス料理に大変満足した様子。参加者は、新たな村の魅力を発見した一日になりました。



弁天崎灯台と参加者の皆さん

■民生委員・児童委員一覧

地区	氏名	備考	地区	氏名	備考
北山	北田まり子	新任	真木沢	畠山 幸一	再任
机	上村 牧子	再任	切牛	佐々木 太	新任
池名	根木地喜則	新任	浜岩泉	熊谷喜枝子	再任
明戸	熊谷裕美子	再任	島越	三浦五百子	新任
羅賀	畠山 和子	再任	尾肝要	向川原 巖	再任
田野畑	泉山 君子	再任	千丈	嘉藤 正義	再任
板橋	三上 修一	再任	巢合	熊谷 勤己	再任
西和野	畠山恵美子	新任	田代	萩 牛	新任
和野	畠山 球語	新任	萩 牛	奥地シナ子	新任
菅窪	畠山 球語	新任	沼袋	佐々木 泉	新任
七滝	佐藤千代子	再任	甲地	畠山 信子	再任
猿山	熊谷 照代	新任	拓洋台団地	石原 和子	新任
大芦			黎明台団地		

■主任児童委員（民生委員・児童委員を兼ねています）

氏名	備考	氏名	備考
奥地 キミ子	再任	前原 静美	再任

敬称略

敬称略

気持ちを新たに、チャレンジ精神を持って、村の皆さまのために、診療を行っていききたいと思います。よろしくお願いたします。



みきお 近江 三喜男 医師

◆1月からの診療日程

	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	休診	○	○

※土・日・祝日は休診となります

※1月1日から3日までは年末年始のため休診となります

◆受付時間

午前 8時30分から11時30分まで

午後 2時から4時30分まで

◆問い合わせ先…国保田野畑村診療所（☎ 33-3101）

国保田野畑村診療所医科では、常勤医師の退職により、今年8月から県立宮古病院などからの応援を受けて診療を行ってききました。平成29年1月1日付けで常勤の医師、近江三喜男さん（68）が着任することになりました。なお、1月からの診療日程は左表のとおりです。

1月1日付けで
村診療所医科に
常勤医師が着任

民生委員・児童委員が改選され、12月1日から新しい体制になりました。任期は平成31年11月30日までの3年間です。この委員は、厚生労働大臣から委嘱を受け、皆さんの自立した日常生活を支援するための相談に応

じたり、必要な助言を行っています。また、児童や妊産婦、一人親世帯などの福祉の増進にも携わり、行政や関係機関へのつなぎ役も担っています。困っていることがあるときは、気軽に相談してください。



カクニンジャ

33-13102 内線56

◆問い合わせ先：保健福祉課（☎ 33-13102 内線56）

◆お問い合わせ先：保健福祉課（☎ 33-13102 内線56）

◆お問い合わせ先：保健福祉課（☎ 33-13102 内線56）

◆お問い合わせ先：保健福祉課（☎ 33-13102 内線56）

申請の期限が
迫っています

臨時福祉給付金

【臨時福祉給付金】

◆支給対象者：平成28年1月1日時点で、住民票が田野畑村にある人で、平成28年度分の村民税（均等割）が課税されていない人
※ただし、次に該当する人は除きます

①平成28年度分の住民税が課税されている人の扶養親族
②生活保護を受給している人など

◆支給額：支給対象者1人につき3千円（1回限り）

◆障害・遺族年金受給者向け給付金
◆支給対象者：平成28年度臨時福祉給付金の支給対象者のうち、平成28年5月分の障害基礎年金または遺族基礎年金などを受給している人

◆支給額：支給対象者1人につき3万円（1回限り）

◆支給額：支給対象者1人につき3万円（1回限り）

理解と協力を
お願いいたします

冬期間通行止め

冬を迎え、降雪による道路の除雪作業が本格化します。また、冬期間利用の少ない路線などの除雪を見送り、積雪時から3月下旬まで通行止めとします（左表）。

次のことに理解と協力をお願いします。
①深夜や早朝の作業に理解をお願いします
②各家庭の玄関前の除雪に協力をお願いします

③道路への雪出しは危険なのでやめてください
④路上駐車は除雪の妨げになるのでやめてください
⑤路面状況に十分注意して走行してください
◆問い合わせ先：建設第一課（☎ 34-12113 内線522）、岩泉土木センター（☎ 22-3116）、三陸国道事務所久慈維持出張所（☎ 0194-5312790）

■除雪しない（通行止め）路線と区間

路線名	区間など
村道館石線	NTT交換所入り口奥～岩泉町境
明戸北山線	明戸～村道机西線交差点 北山集落終点部空き家前～普代村境
久春内線	村道明戸北山線交差点～県道交差点（全線）
白坂線	切牛簡易水道浄水場～猿山（県道）
切牛線	漁協倉庫～菅原神社
田代線	田代の沢砂防ダム～田代年々峠（岩泉町境）
萩牛線	村道沼袋田代線交差点～村道田代萩牛線交差点（全線）
長内沢線	下閉伊生コン～上流
高森線	長嶺線～テレビ塔（全線）
北山港線	県道～北山漁港（全線）
大平線	甲地側起点より50m先～佐々木仁さん宅
松前沢線	村道鉄山線交差点～農免農道浜岩泉線交差点
釜谷ノ沢線	旧県道（全線）
和野線	三上哲雄さん宅～三上昭雄さん宅
田野畑明戸線	ビニールハウス棟群末端部～坂下達男さん宅
島越浜岩泉線	村道鉄山線交差点～村道浜岩泉北線交差点
沼袋三沢線	佐々木安吉さん宅～三沢峠（岩泉町境）
大芦北線	国道45号交差点～農免農道浜岩泉線（全線）
切牛真木沢線	切牛～真木沢（砂利道区間）
真木沢港線	切牛真木沢線～真木沢漁港（全線）
農免農道浜岩泉線	浜岩泉専用水道配水池～和山吉治さん宅



表彰を受けた佐々木禮二郎さんと鋳形静さん

交通指導員の長年の功績を表彰

10月26日、正しい交通ルールを守る運動県民大会が盛岡グランドホテルで開催され、村交通指導員の2名が表彰を受けました。勤続20年以上の交通指導員に送られる功績賞を鋳形静さん(58)＝西和野＝が受賞。佐々木禮二郎さん(80)＝菅窪＝が銀賞(勤続10年以上)を受賞しました。鋳形さんは「職場の皆さんの理解と協力のおかげで、20年間続けることができました。交通安全教室などで子どもたちの笑顔を見ることが一番の楽しみです」と話しました。

小学生が税金の大切さを学ぶ

村は11月18日、田野畑小学校(野中光男校長、児童155人)の6年生を対象に租税教室を開催しました。税金はなぜ納めなければならないか、納められた税金が何にどのように使われているかなどを役場職員が用意した資料とビデオを使って分かりやすく説明。児童は、村職員へ積極的に質問をしていました。このような児童に対する租税教育の取り組みが評価され、同校は宮古税務署長租税教育表彰を受け、11月16日に感謝状が贈呈されました。



レプリカの1億円を持ち、笑顔の児童たち

台風被害を乗り越えツアーを開催

体験村・たのはたネットワークでは11月3日、「晩秋の里山散策・体験ツアー」を甲地地区で開催しました。8月の台風10号で道路などが被害を受けたため、コースを変更しての開催。参加者は、地元ガイドの説明を聞きながら、溪流のせせらぎとのかな里山の風景を楽しみました。散策のあとは、地元のお母さんによる八杯汁のお振る舞い。参加者からは「台風の被害にも負けず地域住民の頑張っている姿に元気ももらいました」との声が聞かれました。



紅葉に色づく里山を歩く参加者の皆さん

友好都市深谷市からお米が届く

11月7日、友好都市の埼玉県深谷市の川本南小学校の小学5年生が育てたお米が田野畑小学校に届けられました。お米を届けてくれたのは川本南小学校の副校長先生と学校応援団の中村泰典さん(67)の2人。中村さんは「川本南小で育てた米を届けるようになって今年で6年目。毎年来る度に、復興が進んでいてすごいなと思います。小学生のみんなの元気が田野畑を元気にすると思いますので、元気に学校生活を送ってください」と生徒にエールを送りました。



川本南小学校からの贈り物に笑顔で感謝を伝える児童たち



パステルシャインアートを真剣な表情で見つめる園児たち

若桐保育園にスマイルキャラバン

NHK放送局のスマイルキャラバンが10月27日、若桐保育園(鈴木康子園長、園児57人)を訪れ、パステルシャインアートと歌で園児と交流しました。パステルシャインアートはイラストレーターの江村信一さんが指導。顔料のパステルを削り、綿でこすり描く技法でパンジーの絵を描きました。キャラバンの初めと終わりには、ウクレレシンガーのデイジー☆どぶゆきさんが歌を披露。園児たちと「わかぎりほいくえんのテーマ」を大きな声で歌いました。

消防団が火災予防を呼び掛ける

11月6日、火災予防パレードが行われ、村消防団などが沿岸と内陸の2コースに分かれ、村民へ火災予防を呼び掛けました。このパレードは、11月9日から15日までの7日間にわたり実施された「秋の全国火災予防運動」にあわせて行われたものです。出発式で畠山保幸団長は「今年、本村では火災が3件発生しており、これ以上の火災を発生させるわけにはいかない。火災のない村を作っていくために火災予防を呼び掛けていきましょう」と訓示を述べました。



出発式で団長に敬礼をする消防団の皆さん

お知らせ

募 田野畑村「任期付職員」の採用試験を実施します

村は、平成28年度田野畑村「任期付職員」の採用試験を次のとおり実施します。受験を希望する人は忘れずに申し込んでください。「任期付職員」とは、専門的知識を有する人や一定の期間内に限り業務量の増加が見込まれる仕事に従事する人を任期を定めて採用するものです。

- ◆職種・採用予定人数…一般事務職・3人、土木技師・1人、保健師・2人
- ◆受験資格
 - 【一般事務職】…昭和51年4月2日以降に生まれた人
 - 【土木技師】…昭和46年4月2日以降に生まれた人で、高校以上の土木系学部・学科を卒業した人または平成29年3月末までに卒業見込みの人もしくは土木系業務の実務経験5年以上で、土木施工管理技師・監理技術者・技術士いずれかの資格を有する人
 - 【保健師】…昭和46年4月2日以降に生まれた人で保健師の資格を有する人または平成29年3月31日までに取得見込みの人
- ◆受付期間…12月16日(金)から平成29年1月10日(火)まで
※受付時間は、午前8時30分から午後5時まで
- ◆受験手続…申込用紙を提出してください。用紙は、12月16日(金)から役場総務課で配布します。また、村ホームページからもダウンロードできます。
- ◆一次試験…書類選考
- ◆二次試験…平成29年2月上旬に村役場で個人面接などを予定しています
- ◆採用予定日…平成29年4月1日
- ◆申し込み・問い合わせ先…総務課（〒028-8407 下閉伊郡田野畑村田野畑143-1、☎0194-34-2111 内線11）

募 住民説明会を開催します

村は、中央防災センター敷地前に整備を計画しているヘリポートについて、住民説明会を開催します。

- ◆日時…12月7日(水)
午後6時30分～
- ◆場所…アズビィ楽習センター
- ◆対象…田野畑地区の住民、農業経営者、田野畑地区の企業・団体など
- ◆問い合わせ先…総務課（☎34-2111 内線16）

知 マザーズコーナーを設置しています

ハローワーク宮古では、子育てをしながら働きたい人のために、マザーズコーナーを設置しています。キッズコーナーで子どもを遊ばせながら、求人情報の検索や就職の相談ができます。

- ◆利用時間…午前8時30分～午後5時（平日のみ）
- ◆その他…電話予約が可能です
- ◆予約・問い合わせ先…ハローワーク宮古（☎0193-63-8609）

募 参加者などを募集中

知 いろいろなお知らせ

知 計画段階環境配慮書を縦覧

田野畑村、岩泉町および普代村において、日本風力開発(株)が計画している風力発電事業に関して、「環境影響評価法」に基づき、計画段階における配慮事項をとりまとめた「計画段階環境配慮書」を以下の通り縦覧します。

- ◆縦覧書類…(仮称) 田野畑風力発電事業に係る計画段階環境配慮書
- ◆縦覧場所…役場1階
※土・日・祝日を除く開庁時
- ◆電子縦覧…<http://www.jwd.co.jp/tanohata>
- ◆縦覧期間…平成29年1月5日(木)まで
- ◆意見書…環境保全の見地からの意見をお持ちの人は、意見書に氏名、住所および意見を記入のうえ、意見書箱に投函するか、縦覧終了日までに問い合わせ先に郵送してください（当日消印有効）
※意見書および意見書箱は、縦覧場所に設置してあります
- ◆受付終了日…平成29年1月5日(木)
- ◆問い合わせ先…日本風力開発(株)（〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目4番14号物産ビル、☎03-3519-7481）

知 多重債務相談窓口の案内

- 東北財務局盛岡財務事務所では、借金を抱えて悩んでいる人からの相談に応じます。
- ◆相談専用電話…019-622-1637
- ◆日時…月～金曜日（祝日、年末年始を除く）午前8時30分～午後4時30分

村は、過去に放送した防災行政無線の内容を、ホームページに掲載しています。放送が聞き取りにくかった場合などには、ホームページで確認することができます。
田野畑村ホームページ
<http://www.vill.tanohata.iwate.jp/>

知 出稼ぎ者の健康診断を実施

- 村は、出稼ぎ者を対象とした健康診断を行います。年末年始に帰省する人は受診してください。
- ◆日時…平成29年1月4日(水)
- ◆場所…国保田野畑村診療所
- ◆受付時間…午前11時から11時30分まで（受付時間厳守）
- ◆対象者…出稼ぎ手帳を持っている人
- ◆受診料…自己負担。ただし、8,920円までは助成します
- ◆申込期限…12月26日(月)
- ◆その他…当日の申し込みは受け付けません
- ◆申し込み・問い合わせ先…生活環境課（☎0194-34-2114 内線25）

知 冬の全国交通安全運動

- 12月1日から10日まで、「冬の全国交通安全運動」が展開されます。交通安全を意識して村から交通事故をなくしましょう。また、飲酒運転は絶対にやめましょう。
- ◆冬の全国交通安全運動の重点
 - ①冬道用タイヤ装着の徹底
 - ②飲酒運転の根絶
 - ③スピードダウンの徹底
 - ④反射材用品などの活用推進
- ◆問い合わせ先…総務課（☎34-2111 内線16）

思惟大橋レストハウス冬季の営業のお知らせ

- 思惟大橋レストハウスでは、12月5日から冬季の営業を行います。
- ◆営業時間…午前10時～午後4時
- ◆定休日…毎週木・日曜日、年末年始
- ◆問い合わせ先…思惟大橋レストハウス（☎34-2145）

人口と世帯

11月1日現在()は前月比
人口 3,599人(+2)
男 1,793人(-2)
女 1,806人(+4)
世帯 1,444世帯(+5)

火災

(10月21日～11月20日)
火災の【今月】 0件
発件数【今年】 3件
無火災の連続記録
(11月20日現在) 095日

知 家屋解体の届け出を忘れずに

- 平成28年中（平成28年1月2日～平成29年1月1日）に家屋を解体した人は、固定資産課税台帳から抹消するために届け出が必要です。届け出がなかった場合、引き続き固定資産税が賦課されることとなりますので、忘れずに届け出をしてください。
- ◆届出期限…平成29年1月31日(火)
- ◆その他…届出用紙は、各地区の行政区長さん宅にあります
- ◆問い合わせ先…税務会計課（☎34-2112 内線34）

募 くらしの出張相談会を開催

- くらしネットみやこ相談室では、出張相談会を開催します。どなたでも無料で相談できますので、なるべく事前に予約して、当日会場にお越しください。
- ◆日時…12月13日(火)
午前10時～正午
- ◆場所…アズビィ楽習センター 会議室
- ◆相談内容…仕事に就くこと、生活することに不安があるなどの相談に応じます
- ◆問い合わせ先…くらしネットみやこ相談室（☎0193-65-7046）または田野畑村社会福祉協議会（☎33-3025）

募 観光船初日の出号を運航

- (株)陸中たのはたでは、北山崎断崖クルーズ観光船の「初日の出号」を運航します。
- ◆運航日…1月1日(日)～3日(火)
- ◆出航時間…1日は午前6時30分と午前10時、2日と3日は午前10時
- ◆料金…大人1,460円
小人 730円
- ◆問い合わせ先…ホテル羅賀荘（☎33-2611）

知 蜜蜂の飼育届の提出を

- 蜜蜂を飼育している人は、蜜蜂飼育届を提出する必要があります。毎年1月1日現在の飼育群数と年間の飼育計画を最寄りの広域振興局に提出してください。ただし、花粉交配用のみ飼育する人や、学術研究などのために密閉された空間で飼育する人は届け出の必要はありません。
- ◆提出期限…平成29年1月31日(火)
- ◆問い合わせ先…沿岸広域振興局農林部(釜石市新町6-50、☎0193-25-2714)

募 地域生活支援セミナーを開催

- ◆日時…12月9日(金)
午後1時～3時
- ◆場所…シーアリーナ
- ◆内容…障害のある人が安定した生活を送るため、基盤となる「居住支援」について先進地の取り組みを紹介します
- ◆問い合わせ先…NPO法人レインボーネット（☎0193-64-7878）

岩泉町へ元気を！お弁当で被災地支援

村食生活改善推進員団体連絡協議会（奥地キミ子会長、会員32人）では11月17日、台風10号で被災し、避難所で生活をしている岩泉町の皆さんに手作りのお弁当を届けました。集まった会員は、村保健センターで80個のお弁当を作り、小本津波防災センターと岩泉町民会館へ届けました。奥地会長は「皆さんに、健康で元気に過ごしてほしいという思いでお弁当を作りました」と話しました。



お弁当には色とりどりの食材が並ぶ

芸術の秋。第43回村民文化展

第43回村民文化展が10月29日から11月1日までの4日間、アズビィ楽習センター会議室を会場に開催されました。会場には、小中学生の作品や村絵画グループ、グループホームの皆さんなどの作品395点が展示され、期間中、村民など約120人が会場を訪れました。

会場を訪れた皆さんは、作品を熱心に見つめていました。



作品を真剣に見つめる園児

明るい街づくりを！街路灯などを寄贈

11月14日、東北電力(株)宮古営業所の菅野行夫所長と(株)ユアテック宮古営業所の佐々木正人所長が村役場を訪れ、街路灯（LED防犯灯10灯）と街路灯の取付工事一式を村へ寄贈しました。

菅野所長は「明るい街づくりに役立てていただきたいです」と石原村長へ目録を手渡しました。この取り組みは東北電力企業グループ地域協調活動の一環として行われたものです。



石原村長へ目録を手渡す菅野行夫所長

転がる教室で楽しく運動体験

村スポーツクラブでは11月12日、岩泉スポーツクラブと村地域子育て支援センターと共同で「たのはたっ子運動クラブ～転がる教室～」を開催しました。岩泉スポーツクラブから講師を招き、マットの上で転がったり、トランポリンを使用した前転をしたり体の動かし方を体験。子どもたちは、笑顔で運動を楽しみました。見守った保護者の皆さんは、子供の意外な一面に驚いた様子でした。



マットを使った運動では、みんなで応援

広報クイズ

問題の答えをはがきを書いて、役場政策推進課（12月15日まで）にお送りください。正解者の中から抽選で5名様にさだまさしさんのサイン色紙が当たります。



Q1 さだまさしさんの復興支援コンサートを鑑賞した人数は？

- A) 約 200 人
- B) 約 100 人
- C) 約 250 人

- 前号(11月号)の正解 Q1→B
- 先月の当選者 上山明美さん (田野畑)

おめでた おくやみ

[平成28年10月届け出分] (一部敬称略)

- 健やかに ～誕生～
工藤 潤貴(じゅんき)くん 大輝・幸枝 大 芦
山根 千寿(せんじゅ)くん 成一・裕子 羅 賀

- 安らかに ～お悔やみ～
畠山 ミツエ (87) 田野畑
泉山 誠一 (77) 西和野
熊谷 アイ (71) 羅 賀
佐々木 邦明 (59) 島 越

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口に申し出てください



「ふるさとCM大賞」審査会の様子

いません(汗)話したか覚えて
度の上で何を
緊張から極
ます▼私は、極
レビで放送され
回、岩手朝日テ
賞として年間50
賞しました。副
賞しました。副
賞しました。副
賞しました。副

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

(11月20日現在)

寄付金総額	4731万3680円 747件 (村内125件、県内176件、県外446件)
取り崩し額	822万9210円
基金残額 (運用益を含む)	3914万2473円

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課 (☎34-2111内線15) までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間：12月1日(木)～12月26日(月)

月日	行事	場所	時間	問い合わせ先
12月2日(金)	乳がん・子宮がん検診	アズビィ楽習センター	9:30～10:30	保健福祉課(内線52)
	特設人権相談	役場第一会議室	10:00～15:00	生活環境課(内線23)
	アズビィ健康スポーツ教室「フットサル教室」	アズビィ体育館(9日、16日も開催)	19:00～21:00	教育委員会(内線11)
4日(日)	第47回 歳末たすけあい演芸会	アズビィホール	10:00～13:00	村社会福祉協議会(☎33-3025)
	たのはたっ子わんぱくランド「パルロと楽しむクリスマス会」	アズビィ楽習センター	9:30～12:00	
	趣味・教養講座「やさしいパソコン講座～写真の取り込みと年賀状文面作成～」	アズビィ楽習センター	10:00～12:00	
5日(月)	アズビィ健康スポーツ教室「卓球・ソフトバレー教室」	アズビィ体育館(12日、19日も開催)	20:00～21:00	教育委員会(内線11)
6日(火)	アズビィ健康スポーツ教室「ソフトテニス教室」	アズビィ体育館(13日、20日も開催)	18:00～19:00	
7日(水)	アズビィ健康スポーツ教室「バドミントン教室」	アズビィ体育館(14日、21日も開催)	19:30～21:00	
	子育てサロン「マタニティ」	アズビィ楽習センター	13:00～16:00	地域子育て支援センター(☎37-3577)
21日(水)	乳児健診	健診センター	12:20～15:30	保健福祉課(内線54)
26日(月)	健康相談	浜岩泉地区公民館	10:00～11:30	保健福祉課(内線52)
	固定資産税3期 国民健康保険税7期 納期限			税務会計課(内線34)
	後期高齢者医療保険料6期 介護保険料7期 納期限			生活環境課(内線21)

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 医科診療所☎33-3101 / 歯科診療所☎33-3100 / 保健福祉課☎33-3102

はまなす号巡回カレンダー

◆はまぎくコース(羅賀・机・北山方面)

月日	場所	時間
12月20日(火)	拓洋台団地集会所付近	9:05～9:20
	グループホームつくえ付近	9:50～10:05
	北山地区総合センター付近	10:15～10:30

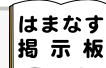
◆たんぼぼコース(田野畑・切牛方面)

月日	場所	時間
12月20日(火)	黎明台団地集会所付近	11:15～11:30

◆おきながさコース(沼袋・甲地方)

月日	場所	時間
12月21日(水)	産直プラザ尾肝要付近	9:15～9:30
	山栄会アス倶楽部付近	9:35～9:50
	甲地公民館付近	10:00～10:15

◆問い合わせ先…教育委員会 (☎34-2226)



編集まぼれ話

岩手朝日テレビ主催の「ふるさとCM大賞」の審査会が11月27日、盛岡市で開催され、白亜紀の地層をテーマにした本村のCMが、特別賞の「アイディア賞」を受賞しました。副賞として年間50回、岩手朝日テレビで放送される「極度」の緊張から話を上へ何を話したか覚えていません(汗)

わが家の アイドル



熊谷 ^{いっしん}一真くん (1歳11カ月)
亨さん・梨那さん＝尾肝要＝

お母さんからのひとこと

お姉ちゃんが大好きで、いつも一緒に遊んでいます。優しく、甘え上手で家族のみんなにかわいがられています。

お姉ちゃんと弟といつまでも仲良く、強く優しい男の子になってね。



阿部 こはるちゃん (1歳10カ月)
晃洋さん・奈津美さん＝羅賀＝

お母さんからのひとこと

外で遊ぶことと音楽に合わせて踊ることが大好きです。性格は、おてんばですが慎重な一面もあります。

いっぱい笑って泣いて、明るくたくましい女の子になってね。



村長 石原 弘の
村長コラム

27

「たのはたの」ココロ 芸能祭りと音楽会」

「たのはたの」ココロ 芸能祭りと音楽会」は、自立する地域づくりの模範となるものだと思います。

村民の意見を取り入れ、職員が企業の社会貢献事業（CSR）にエントリーして財源を確保すること、スタッフを地域の皆さんや役員職員だけに頼ることなく、この活動に共感して支援する方々やココロの歌の地域づくり賛同する早稲田大学や岩手県立大学などの学生の皆さんの若い力が結集したこと、そして、田野畑村を愛する全ての方々のココロが結実したものであるのです。

旧小学校ブロックごとに練習を重ね、収録したCDは、この日約350枚を配布し、多くの方々に鑑賞して頂いたものと思います。歌は人の心を優しく包み、ましてや自身が大切に歌ってきた小学校時代の校歌が残せることの価値は計り知れないものであります。参加した皆さんが満足した様子で、帰路につく姿がとても清々しく感じられました。

「たのはたの」ココロ 芸能祭りと音楽会」が示したことは、村民が求めること、今大事にすべきことをどうしたら可能にすることができるか、思索し行動に移すことが、地域の力になることだと思えます。村民が主役、村民の幸せを感じる時を創るというその目的のために、どのような手段があるかを考え、村民のための行政執行のあり方を、多角的に推し進めていきます。今回を含め、私の強い思いでもあります。